#### 編集後記

本号も最後までご覧いただきありがとうございます。179RELATIONSの体制 づくりを担当しているしています草野です。もう、20年も前の話になりますが、 この179RELATIONSという取り組みは、私が大学生時代に「もっと、地域づく りや環境保全の現場に足を運びたい」という思いがあったにもかかわらず、結局、 リゾートバイトぐらいしか見られず、悔しい思いをしたことが原体験にあります。 そういう意味では、現在、多くの若者が北海道各地の現場に足を運ぶ機会が 生み出せていることに大きな価値を感じています。今回特集した、厚真町と大学 の連携モデルも、20年前では「学生が個人で行うボランティア活動」と位置づけ られるものが、「実習先の一つとしてカリキュラムに組み込まれている」という 点で見るととても大きな変化の結果といえます。大学での専門的な学びと、 NPO等が作り出す課題の最前線現場での実践の組み合わせは、お互いの強み 弱みを補い合うことができる組み合わせ。今後の展開にもぜひご注目ください。



179リレーションズ 草野竹史

#### 関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」とは

179リレーションズでは、北海道各地の"「地域に関わる「入り口」"をつくります。ひとつひとつのまちや 活動に注目し、住んでいる場所や世代を超えて誰もが対等な関係性を大切にしながら、若者をはじめとする 次世代の担い手が育ち、変化に強い持続的な地域がつくられていくことを目指します。

特に以下の項目を重点項目として展開しています。

- ①「関係人口」創出により、地域外の若手人材を地域の活動へ巻き込みます。
- ② 地域内の若者が、主体的に展開する様々な活動と連携します。
- ③ 関係人口創出WEBマガジン「179RELATIONS.net」から参加する若者のリアルな声をお届けします。

季刊誌「RELATIONS MAGAZINE」では、179RELATIONSの最新情報やホットな話題 をお届けします。みなさんとの連携のきっかけになればと思いますので、気になる情報や 活動がありましたらお気軽にお問合せください。



#### 運営団体「NPO法人ezorock」とは



"ezorock"は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、 2000年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL」 における環境対策活動をきっかけに2001年4月に設立さ れました。青年層のネットワーク拡大とともに、北海道 の地域課題に対して、若者のアイディアやパワーを届け る事業を展開。活動を通して若者が自らの人生と社会を 切り開いていく機会を作り出しています。

活動日数 318日 人数 のべ1645人 地域 24市町村

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌

#### ATIONS MAGAZINE!

PRODUCED BY ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7 TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

WEB https://www.ezorock.org/ https://lin.ee/ugUhj0g https://www.facebook.com/ezorock/

https://twitter.com/ezorock/





### **RELATIONS MAGAZINE!**

2021.10 vol6





### 長期滞在型プログラム を実施しました

厚真町(教育委員会・堀田農園) × いぶり自然学校× 北海道教育大学函館校 × ezorock

厚真町をフィールドに大学生が長期滞在するプログラムを今年度も実施しました。新型コロナウイルスの影響もあり、宿泊場所 は苫小牧市のイコロの森に移したものの、「災害」と「子ども」という切り口からどっぷりと地域に浸かる活動になりました。 社会教育という学校や家庭以外の教育の場や動物たちとの非言語コミュニケーション、子どもの主体性に本気で向き合う人々の姿、 そして何より初めて出会う人たちとの共同生活によって参加者の頭と心が大きく揺さぶられる姿を感じるプログラムでした。 今回は、送りだし、受入側の声からプログラムの全容をお届します。参加者からの言葉は今後をお楽しみに。

【活動日程】 (第一陣) 9月5日~15日 (第二陣) 9月15日~25日 【参加人数】9名

#### 実習の仕組み

北海道教育大学函館校における「地域づくり支援実習」 は、地域に一定期間(原則として10日間以上かつ90時間 以上)滞在して、何らかの就業体験を行う地域滞在型 インターンシップです。このうち、厚真町での実習は、 実習指導をNPO法人ezorockが行い、実習先は厚真町 教育委員会が提供する形が採られています。最近では 「地域づくり」に関心を持たなかった教職希望の学生も この実習に参加するようになりました。

#### 教育大学函館校 齋藤征人先生

多くの学生たちは、コロナ禍にあっても慌ただしい毎日 のなかにあります。資格取得には無関係の、しかも長期 滞在になるこの実習に、すべての学生が「100%のやる 気」でトライしてくるわけではありません。しかし、実 習中のさまざまな仲間や大人たちとの出会いや日々の対 話によって、学生自身の自己覚知が深まり、ものごとに 対して多様な見方・考え方ができるようになっていきま す。多くの学生たちはそれを「とにかく毎日が楽しくて 仕方なかった」と振り返るのです。厚真・苫小牧で過ご したこの夏の10日間。学生たちにとって、

大学生活では決して得ることができない 「最大級のターニングポイント」となったことは言うまでもありません。

#### 活動内容

前半の7日間を苫小牧市にあるイコ 口の森での動物や自然に囲まれる 暮らしを体験。後半3日間で厚真町 の教育を知るプログラムを実施。 オンラインでの事前・活動中の 意見交換や過去災害時の子ども たちの様子などを考える時間と 直接現場の空気を肌で感じる機会 を創出しました。社会教育・ふる さと教育・自然体験・子どもの 主体性と災害という大きなテーマ を掲げながら、日々インプットし、 試行錯誤しながら暮らし、夜は 自分の言葉を苦労して紡ぎアウト プットする10日になりました。



教育と災害に関する講話

日程	内容
1日目	・オリエンテーション ・車内から厚真町見学
2~7 日目	・動物の世話・森林整備 ・自然体験活動の運営 @イコロの森(苫小牧)
8~ 10 日目	・取り組み紹介、講話 こども園、学童、 放課後子ども教室、 ふるさと教育について ・北海道胆振東部地震 発災時の状況について ・農作業体験 ・振り返り @厚真町



しいたけ収穫@堀田農園

#### 厚真町教育委員会

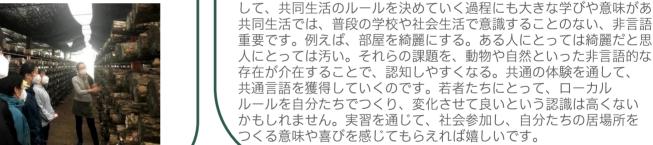
「厚真でどっぷりと厚真を感じる」

昨年度から実施している本取組ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を 受け、昨年のように厚真町に滞在することができず、冒頭の「厚真でどっぷりと厚真 を感じる」ことはできなかったのは残念でした。ただ、そんな中でも、オンラインを 活用しながら、厚真町の教育の現状について知る機会をもてたり、厚真町の人との接点 をもてたりしたことで、「3年前に大きな地震があった厚真町」ではなく、当事者意識 を持って厚真を思う、そんな愛着をもってもらえると嬉しいなと思います。毎回すごく 印象的なことといえば、学生たちがしっかりと厚真町に心を寄せて、厚真町の現状から これからの未来について疑問をもち、真剣に議論している姿です。その姿や学生との対 話の中での新たな気づきが、学生だけではなく地域がアップデートするためのエッセン スになり、お互いにとって非常に有意義な時間になったなと感じます。

#### NPO法人いぶり自然学校 八木一馬さん

今回の実習は、僕らにとっても挑戦的なものでした。森のベースを自分たちの居場所と して、共同生活のルールを決めていく過程にも大きな学びや意味があったと思います。 共同生活では、普段の学校や社会生活で意識することのない、非言語の領域の言語化が 重要です。例えば、部屋を綺麗にする。ある人にとっては綺麗だと思っていても、ある

存在が介在することで、認知しやすくなる。共通の体験を通して、 共通言語を獲得していくのです。若者たちにとって、ローカル ルールを自分たちでつくり、変化させて良いという認識は高くない かもしれません。実習を通じて、社会参加し、自分たちの居場所を つくる意味や喜びを感じてもらえれば嬉しいです。





#### 【送りだし】

- ・説明会の実施・学生への動機づけ
- ・レポート確認・単位認定



#### 【中間支援】ezorock

- ・プログラム組み立て・移食住の確保
- ・参加者との連絡調整



#### 【受入】厚真町教育委員会 いぶり自然学校・堀田農園

・プログラム提供・取り組みの紹介

続々更新中



## はまます日記発行 ACTIONS 2

リモートで参り 旭岳自然保護プロジ 加ジ しェ まク

# ACTIONS Se

## 力皮活用、

ACTIONS 7 全 3 シ 回 179リ はじ 8

## INTERVIEW

いず 滝とれ ル と 思ってた た れ 地元オホ おりし こ尾ツ し崎ク 協八へ

# INTERVIEW

ピックアップWEBマガジン記事

#### 月 21 お カラー な アーケ ケーシ ∃

#### 18 9 5 日 25 日 5 19 の伊達市大滝区の伊達市大滝区

21 日 19 日 インタビュ 浜益集落の教徒 か自大の然雪 月に 

17 3 日 日 自然保護プロジェ 大雪山国立公園知 大雪山国立公園知 お手伝い お手伝い 月大者と一方 度川が が遊びの苦小牧の苦小牧 うの シェクト 低い終了 アップ まち」